

時間割番号:					
<b>計量経済学 I (計量経済学)</b>					
担当教員					
得田 雅章[Masaaki Tokuda]					
開講学部等	経済学部	対象年次		単位数	2
開講時期	春学期	開講曜時	火3	クラス	

### 授業の目的と概要

計量経済学とは、経済諸変数間の関係を定量化し、その経済学的意味合いを読み取ることを目的とする学問である。

本講義では消費関数、投資関数、輸出入関数、フィリップス曲線、貨幣需要関数といった題材を用いることで、マクロ経済学の定量的側面を習熟してもらう。

日本経済の最新マクロデータを利用し、計量分析の面白さも伝えていく所存である。

なお、本講義は統計学の基礎を理解していることが望ましいが必要条件とはしない。

さらに講義内容を確実なものとするため、履修者には適時課題の提示を行う。

### 授業の到達目標

受講生には以下に示す理論面ならびに実証面での到達目標を設定する。

(理論面)

○単回帰・重回帰分析の理解

○t検定・F検定の理解

(実証面)

○マクロ経済データの取り扱い

○MS Excel (表計算ソフト) を用いた回帰モデルの推計

○MS Excel & MS Word (ワープロソフト) を用いた推計結果の表現。

### 授業計画

回 内容

01 イントロダクション：計量経済学とは何か

02 OLS1

03 OLS2

04 単回帰分析 1

05 単回帰分析 2

06 単回帰分析 3

07 重回帰分析 1

08 重回帰分析 2

09 重回帰分析 3

10 関数形・特殊変数 1

11 関数形・特殊変数 2

12 F検定・構造変化検定 1

13 F検定・構造変化検定 2

14 まとめ、期末試験(レポート)、以後の学習へのアドバイス

### 授業計画の補足(事前学習・事後学習など授業時間外の学習、参考資料など)

実習という性格上、隣前後の人との話はある程度認めます。わからないこと、アドバイス等、積極的にコミュニケーションをとりましょう。プリントアウトのための講義中の移動を認めます。

### 成績評価の方法

出席3/4以上必須、課題提出40%、期末レポート60%をもとに総合的に評価する。

### 成績評価の基準

出席3/4以上必須、課題提出40%、期末レポート60%をもとに総合的に評価する。

積極的な受講態度が見受けられない場合は減点、あるいは欠席扱いにします。遅刻も同様です。

出席日数が足りない場合は一律にゼロ評価とします。

## 教科書

教科書1	ISBN	4915787451				
	書名	計量経済学				
	著者名	山本拓著,	出版社	新世社	出版年	1995

## 参考書

参考書1	ISBN	4535554978				
	書名	「例題で学ぶ」初歩からの計量経済学				
	著者名	白砂堤津耶 著,	出版社	日本評論社	出版年	2007

参考書2	ISBN	978-4-88384-198-				
	書名	入門計量経済学：Excelによる実証分析へのガイド				
	著者名	山本拓, 竹内明香 著,	出版社	新世社	出版年	2013

## 教材に関する補足情報

スポット的にEViewsやMaximaといったより専門的なソフトを活用する授業回があります。

## 参考文献一覧

活用が期待されるウェブサイト

- ・総務省統計局
  - ・日本銀行 統計
  - ・データ数学ナビゲーター
- 等

## 履修上の注意事項

講義には作成したファイルを保存できるようUSBメモリ等を用意しておいてください。また、前回までに使用・作成したファイルも持ってきてください。

エクセル操作の熟達

講義で使用するソフトはエクセルがメインです。必要最低限の操作法は講義中に教えますが、エクセル初心者はある程度、自分で学習したほうが講義での効率は格段に上がります。

## キーワード（「実務経験のある教員による授業科目」は「実務経験」で検索）

## 備考（実務経験の内容と授業との関連を含む）

## 参照ホームページ

## 教員からの一言

## オフィスアワー

火曜日の昼休み（12：00～12：50）

## 連絡先（研究室他）

402B室

■■ 連絡先（電話番号）

■■ 連絡先（メールアドレス）

m-tokuda@biwako.shiga-u.ac.jp

■■ ホームページ

<http://www.biwako.shiga-u.ac.jp/sensei/m-tokuda/>

■■ 備考（教員情報）

電子メールにて